

『RRS介入を契機としてICU緊急入室した症例の臨床的特徴と転帰の検討』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	Rapid Response System(RRS)は院内急変患者に対する早期介入を目的としたシステムです。本研究では、非予定ICU入室患者を対象に、ICU入室前のRRS介入の有無とICU経過との関連を検討します。本研究の結果は、院内急変対応体制の改善および重症患者診療の質向上に役立つことが期待されます。
研究の方法	当院ICUに緊急入室した患者さんを対象とした後ろ向き観察研究です。診療録およびJIPAD(Japanese Intensive care PAtient Database)に登録された情報から、患者背景、RRS介入の有無、ICU入室時の重症度、ICU滞在期間、転帰等の情報を収集し、RRS介入とICU経過との関連を検討します。なお、本研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。
対象者	2024年11月1日から2026年3月31日の間に、当院ICUに緊急入室された18歳以上の方
利用する試料/情報	情報等：診断名、転帰、ICU入室日数、RRS起動の有無、年齢、性別、ICU入室の経過など
利用する試料/情報の取得方法	診療録（カルテ）など、診療の過程で得られた情報を利用します。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当無し
結果公表	第54回日本救急医学会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、2026年8月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 集中治療科/医長/星野哲也
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 集中治療科/星野哲也